

記入例

農業経営改善計画認定申請書

令和 8 年 4 月 1 日

氏名欄の
押印は不要です。

○	米沢市長 様
	山形県知事 様
	東北農政局長 様
	農林水産大臣 様

申請者	住所	米沢市金池五丁目2-25		連絡先	22-5111
	フリガナ	ヨネザワ タロウ		フリガナ	
	個人・法人名	米沢 太郎		代表者氏名 (法人のみ)	
	生年月日・ 法人設立年月日	昭和61年6月1日		法人番号	

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画							
① 農業経営体の営農活動の現状及び目標							
(1) 営農類型							
現状（令和8年）				目標（令和13年）			
☐稲作 ☐麦類作 ☐雑穀・いも類・豆類 ☐工芸農作物 ☐露地野菜 ☐施設野菜 ☐果樹類 ☐花き・花木 ☐その他の作物（ ） ☐酪 農 ☐肉用牛 ☐養 豚 ☐養 鶏 ☐養 蚕 ☐その他の畜産（ ） ■複合経営				☐稲作 ☐麦類作 ☐雑穀・いも類・豆類 ☐工芸農作物 ☐露地野菜 ☐施設野菜 ☐果樹類 ☐花き・花木 ☐その他の作物（ ） ☐酪 農 ☐肉用牛 ☐養 豚 ☐養 鶏 ☐養 蚕 ☐その他の畜産（ ） ■複合経営			
(2) 農業経営の現状及びその改善に関する目標							
	現状（令和8年）	目標（令和13年）		現状（令和8年）	目標（令和13年）	主たる 従事者 の人数	1人
年間所得	180 万円	450 万円	年間労働時間	2,000 時間	2,050 時間		
主たる従事者1人 当たりの年間所得	180 万円	450 万円	主たる従事者1人 当たりの年間労働時間	1,700 時間	1,750 時間		

② 農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

(1) 生産

(2) 農畜産物の加工・販売その他の
関連・附帯事業（売上げ）

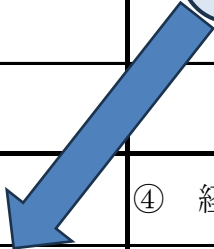
作目・部門名 (耕種)	作付面積 (a)	生産量	作付面積 (a)	生産量	作目・部門名 (畜産)	飼養頭数 (頭、羽)	生産量	飼養頭数 (頭、羽)	生産量	事業内容	現状（令和8年）	目標（令和13年）
水稻	500a	30,000kg	800a	48,000kg						水稻作業受託（全作業）		100a
大豆	150a	2,250kg	225a	3,375kg								
そば	150a	1,050kg	250a	1,785kg								
水稻特定作業受託			100a	6,000kg								
目標の作付面積を増やす場合、農用地に不足がないか確認の上、記入してください。												

(3) 農用地及び農業生産施設												
ア 農用地						イ 農業生産施設						
区 分	所在地		地 目	現状（令和8年） (a)	目標（令和13年） (a)	種 別	所在地		規 模			
	都道府県名	市町村名					現状（令和8年）		目標（令和13年）			
							棟	m ²	棟	m ²		
所有地	山形県	米沢市	田	300a	300a	育苗ハウス	山形県	米沢市	2棟	324m ²	2棟	324m ²
借入地	山形県	米沢市	田	500a	975a							
その他	山形県	米沢市	田		100a							
経 営 面 積 合 計				800a	1,375a	経 営 面 積 合 計		2棟	324m ²	2棟	324m ²	
③ 生産方式の合理化に関する現状と目標・措置						④ 経営管理の合理化に関する現状と目標・措置						
現状	20aから30a区画は場中心で、点在している。水稻に関しては現状、カメムシの被害に遭ったため出荷できる米が少なくなってしまった。					現状	青色申告 簡易簿記記帳					
目標	30a区画のほ場を中心に農地の集積・集約化を進め、作業効率を考慮しながら規模拡大を図る。また、水稻の防除・草刈りを徹底することでカメムシの被害を軽減し、生産量を確保する。					目標	複式簿記記帳の実施					
⑤ 農業従事の態様の改善に関する現状と目標・措置						⑥ その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置						
現状	定期的な休日を設けていない。					現状	近年、圃場周辺にサルやイノシシが出没し、育てた作物を食べられたり、田畑を荒らされる等の被害が発生している。					
目標	休日制の導入					目標	電気柵を設置し、圃場と作物の保護を図る。					

規模拡大する場合、現在の生産施設で対応可能か検討の上、記入してください。



③の現状と目標・措置の記載が不明瞭なため
審査が長引く事例が頻発しています。
現状の欄には現在の生産状況の他に何が課題
かを明記し、目標の欄でどのように改善していくかを具
体的に記載してください。



(参考) 経営の構成

[illegible]

(別紙) 生産方式の合理化に係る農業用機械等の取得計画

農業用機械等の名称	数量
トラクター 32PS、68PS⇒50PS、68PS (更新)	2台⇒2台
コンバイン 6条刈 (現状維持)	1台
田植機 6条植え ⇒ 8条植え (更新)	1台⇒1台
乾燥機 60石、45石⇒60石、45石、65石 (増設)	2台⇒3台
スピードスプレイヤー (新規)	1台
現状所有している機械を記入し、 今後5年間で増設・更新・現状維持する場合、上記のように 記入してください。 (機械の馬力などできるだけ詳細な内容を記入してください。) 新たに機械を取得する場合には機械名に(新規)とつけて 記入してください。 ※農業経営基盤強化準備金や農業近代化資金などの制度資金を活用し て購入予定の農業用機械等は機械名に漏れなく記入ください。	

備考

「農業用機械等の名称」欄には、生産方式の合理化のために、取得する予定の農業用の機械及び装置、器具及び備品、建物及びその附属設備、構築物並びにソフトウェア等を記載する。

(②「(3) 農用地及び農業生産施設」に記載しているものは記載不要。)